

# 石川の教育 今日的課題と対応



石川県教育委員会事務局  
学校指導課

課長 小 浦 寛

## □はじめに□

現在、社会は急激なグローバル化が進んでおります。また、特に我が国では、生産年齢人口の減少等により、今後、社会構造が大きく変化することが予測されております。

そのような混沌とした状況の中、子どもたちが生き抜いていく上で必要となってくるものは、何でしょうか。

十分な知識・技能は勿論ですが、それらを活用して課題を解決していく力、そして主体的に学ぶ態度などが求められています。さらには、正解のない、あるいは複数の答えをもつ課題を見つけて、最善の解決に導く能力も必要となってくるでしょう。

県教育委員会では、本県教育全般の指針である「石川の教育振興基本計画」に基づき、ふるさとに誇りを持ち、未来を切り拓こうとする気概あふれる積極果敢な人づくりを目指し、各種施策に取り組んでいくところです。

今回は、本県の取組について、以下に紹介いたし

ます。

## □小中学校における取組□

○学力向上に向けた新たな取組

(1) 学びの組織的実践推進事業

本県の学力向上においては、一定の成果とともに、地域間や学校間、年度間での学力のばらつきが課題として明らかになっています。その改善に向け、本事業では、学校が組織的・継続的に学力向上を推進するための取組や体制づくりを進めています。

中でも、「学力向上ロードマップ」の作成は、学力調査結果の分析・考察等による科学的な根拠に基づき、「目標の共有・分業（効率化）・継続性」を視点として、目標に到達するための一つ一つの取組の過程を改善し、明らかにする取組です。

現在、全市町で、本事業拠点校と連携校が市町教育委員会とともに試行錯誤を重ねており、今後は、「学力向上ロードマップ」を基に、計画・実践・評価・改善のサイクルが市町、学校に根付き、意図的・計画的な指導のもと、児童生徒に確かな学力が身